



フレンズ

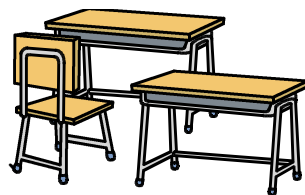
山梨県立かえで支援学校相談・支援通信 第47号 平成25年3月18日発行

※「フレンズ」は、かえで支援学校の校歌(杉本竜一氏作)です。本校HPにてお聴きください。

園・学校の取組を紹介します！

こんな工夫をしていました ①

通常の学級に在籍する発達障害のある児童に対して、隣にもうひとつ机を置いていました。飛び出しを防いだり体育着をたたんだりお知らせを袋に入れたりする作業台として使わせたり、話を聞いてほしいときに手に持っている物を置かせたりしていました。言葉だけの指示で動くのは難しい児童でも、環境を整えることで、通常の学級でも学習できるのだと感じました。また、おしゃべりが止まらない時に、そっと肩に手をおいて「黙っていてね」の無言の合図もとても効果を発揮していました。



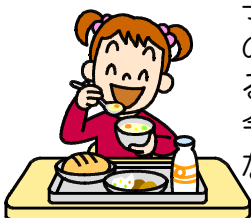
こんな工夫をしていました ②



通常の学級で気になる児童を含めた学習での板書の一例。
①ドリルの直しをする。②～ページの計算問題をする。③プリントをする。等その時間の学習内容と手順を黒板に書いて、児童に伝えていました。今どこを自分が取り組んでいるかわかるように、課題の下に自分の名前カードを貼り付けていました。また、一斉指導の際に皆が集中できるように、黒板に問題を一つだけ書き、終わったら消して別の問題を書くということを繰り返していました。先生方は意識をしていないだけで、立派に特別支援教育をしているのだなと感じました。

こんな工夫をしていました ③

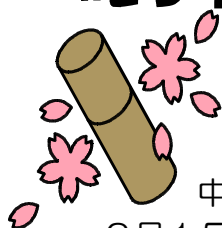
ある園の発達障害のある園児は、偏食が強く、白いご飯程度しか給食が食べられませんでした。担任の先生は、初日はにおいを嗅がせ、次の日は子どもが自分で食べ物のにおいを嗅げるようにし、そして次の週にはペロリと舐めるだけ、さらに次の週は口に入れてみる、というスモールステップで地道に取り組んでいました。今では野菜や果物も含めていくつかの物が食べられるようになりました。あせらず気長に、でも嫌にしない程度に続ける大切さと、担任と子どもの信頼関係の重要性を感じました。



幼稚園・保育園で発達が気になる子について、 お母さんに何をどのように話せばいいの…??

まず、園側がそのことを問題だ！と感じるのではなく、どのように保育をしていったらいいか自分たちが悩んでいるんだ！と感じ直すことです。“問題があるから保護者にどこかに相談に行ってもらった方がよい”というより先に、“保育士側が、どのようにかかわったら声かけしたらこの子は活動にのってきてくれるのか”という考え方をすると、子どもが見えてきます。そのような考え方が前提にあって、初めて保護者にも関係機関への相談のすすめができるのではないのでしょうか。伸びていることも含めて、子どもの発達で気になる面を告げながら、保護者に何を求めるのか（相談に行ってもらいたいのか、それともこのような状態を知っておいてもらいたいただけなのか等）をはっきり伝えることが大切だと感じています。経験が浅い担任等の場合は、主任の先生や園長先生と一緒に同席してもらうのも一つの方法です。相談機関につながったからといって解決するわけではなく、それを出発点として保護者と園で気持ちを一つにして、子どもの育ちを応援していくことこそが一番大事ではないかと感じています。

H25年度かえで支援学校入学・転入学予定者の引継ぎについて



小学部への入学・転入学予定児につきましては、各園・学校に本校が訪問しての引継ぎをお願いしています。御協力をお願いいたします。

＜担当：小学部主事**中嶋**>

中学部・高等部への入学予定者につきましては、事前に日時の予約をしたうえで、3月15日～22日の引継ぎ期間中に御来校願います。「個別の教育支援計画」等の引継ぎ資料を持参してください。

＜担当：中学部主事**松澤** 高等部本校主事**荻原**・分教室主事**佐田**>

*入学予定者在籍の園・学校にはすでに文書が発送されています。

公立の幼稚園・小・中・高等学校の コーディネーターの先生方へ

お願い

どこの支援学校への依頼であっても、センター的機能の「訪問支援」「研修支援」を利用の場合には、支援終了後に教育委員会へ**報告をすること**になっています。今年度受けた支援について、まだ報告が済んでいない公立園・小中学校は、お電話で結構ですので、各市教育委員会へ報告をお願いいたします。県立の高等学校は、県教育委員会新しい学校づくり推進室まで報告をお願いいたします。

★「フレンズ」のバックナンバーを、ぜひHPでご覧ください。

◆◆◆ この通信に関するお問い合わせは ◆◆◆



山梨県かえで支援学校
相談・支援部（伊波・いは）

かえで支援学校

検索

甲府市東光寺2-25-1(〒400-0807)
TEL 055(223)6355 FAX 055(223)6356
URL <http://www.kaedey.kai.ed.jp/>
E-Mail sodan@kaedey.kai.ed.jp
(相談・支援部専用アドレス)

